**2026年3月期　修士論文の提出について**

**〈文学研究科〉**

　2026年3月期修士論文提出予定者は、以下の要領を熟読のうえ、手続きをすること。

１　修士論文論題の提出

　(1)　提出期限　　**2025年10月15日（水）16時**

　(2)　提出方法　**【ステップ1～3が完了して、論題提出済とする】**

**ステップ1.** ➀【仮提出（指導教員への提出）】のURL（QRコード）から論題の仮提出をする。

※必ずkから始まるIDでマイクロソフトへのログインをしてください。

（<https://www.itc.kansai-u.ac.jp/services/microsoft365.html>）

➀【仮提出（指導教員への提出）】



<https://forms.office.com/r/Tu0uiEfJN7>

**ステップ2.**　指導教員からの承認が下り次第、k番のメールアドレスへ「【承認】修士論文計画書（論題）を本提出してください」という件名のメールが届く。

**ステップ3.** ②【本提出（事務担当者への提出）】のURL（QRコード）から論題の本提出をする。

※最初から本提出はできませんので、必ずステップ1・2を経てください。

②【本提出（教務担当者への提出）】

<https://forms.office.com/r/2raehbQuAu>

２　修士論文・論文要旨の提出

2.1　 提出期限 **2025年12月16日（火）9時～2026年1月15日（木）16時**

2.2　 提出方法　**関大ＬＭＳの「文学研究科　修士論文受付口(2026年3月期)」から電子ファイルを**

**アップロードすること。**

(1)　ファイル形式は、PDFとする。

(2)　ファイル名は、学籍番号(半角)\_氏名(漢字等全角)\_氏名(全角カナ)とする。

例　24M4001\_関大太郎\_カンダイタロウ.pdf

(3)　関大LMS上アップロードできる1ファイルの最大容量が20MBのため、ファイルの容量が

20MB以上の場合は、20MB以下の容量になるように分割し、複数ファイルに分けてアップロ

－ドすること。なお、最大5ファイルに分割し、100MBまでアップロードが可能。100MBを

超えるためにアップロードができない場合は、ファイルを保存したUSBメモリを、学籍番号　　　　　と氏名が記載された封筒に入れて教務センターに提出すること。

例　2分割する（前半（18MB）、後半（12MB））場合、ファイル名は以下のとおりとすること。

24M1001\_関大太郎\_カンダイタロウ-1.pdf

24M1001\_関大太郎\_カンダイタロウ-2.pdf

(4)　PDFファイルに変換した際に、文字化け等が生じないか論文内容を各自で確認すること。

2.3　注意事項

(1)　提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しない。　　　　　　(2) 計画書を提出したが、修士論文・課題研究論文を提出しない場合は、関大ＬＭＳの「文学研　究科　修士論文受付口(2026年3月期)」の中に設定されている<修士論文の提出辞退>からそ　の旨を報告すること。

　　　（3）すでに提出した論題を変更する場合は、論文提出期間において、論文を提出する前に上記1.のステップ1～3の操作により論題を再提出すること。

(4)　論文をPDFファイルに変換できない場合や1つのファイルにまとめることができない場合

は、提出期限までに教務センター庶務窓口へ申し出ること。この場合、大学にて論文（紙媒

体）をスキャニングし、PDFファイルに変換するので、論文（紙媒体）を1部、もしくはファ

イルを入れたＵＳＢを提出すること。

(5) ファイルを入れたＵＳＢメモリやスキャニング用の論文（紙媒体）は返却しない。

３　修士論文・論文要旨の作成

(1) 判型 A4サイズ

(2) ページ設定 40字×36行（縦書き・横書きとも）

(3) 分量 【修士論文】制限なし

【論文要旨】1,000字から2,000字程度

(4) 配列 表紙・論文要旨・目次・論文の順に配列すること。

(5) 表紙 表紙には以下を記載すること（文字サイズ・配置などの様式は自由）。

2026年3月期 関西大学大学院 修士論文

論題

文学研究科　総合人文学専攻

○○専修

学籍番号　氏名

(5) 注意事項 ア　論文・論文要旨の文字色は原則として「黒」とすること。

イ　添付資料が多量にあって別ファイルにする場合は、表紙に「資料」と明記し、ファイル分割による提出に準じて、ファイル名に通し番号を振ること。

４　その他

(1) 一度提出した修士論文は、内容を変更することはできない。ただし、字句、誤字、脱字等の修正については、指導教員が許可した場合に限り認める。この場合、修士論文の口頭試問終了後1週間以内を目途に、修正した電子ファイルを関大ＬＭＳの修士論文等受付口コースからアップロードすること。（指導教員から教務センターに申し入れがあれば、アップロード可能な状態に設定される。）

(2) 専修によって審査用に紙媒体の副本の提出を求める場合がある。紙媒体の副本は、当該専修の合同研究室に3部提出すること（教務センターでは受け取らない）。副本の提出期限は正本（電子ファイル）の提出期限と同日同時刻までとする。紙媒体で提出された副本は、審査終了後に返却する。

以上